

<第2回>

200H5024

ミスター バーンズ RC

～赤白斑と赤因子の娘牛～



ホルスタインジャーナル 2011年3月号

ミスターバーンズを使って成功した牛群はカナダ中に沢山あって娘牛は国際的に注目を集めている。

オンタリオ州ニュー ハンブルグのワグラー一家（ウェインとメアリー ワグラー、デニスとベティアン ワグラー、マークス ワグラー）が所有するマスターブリーダー牛群であるクレイヌック牧場もその一つである。

「赤/白の良いホルスタインを作りたいと考えている時に、シーメックス アライアンスのブライアン カースカーデンにこの新規検定済みの赤因子種雄牛の事を相談した後、ミスターバーンズを自分の牛群で使おうと決めたのです。ミスターバーンズは当時、ベストの黒白種雄牛と体型、能力共に対等に競争でき、特に乳蛋白%ですぐれていることが気に入っていました。」とウェイン ワグラーは述べている。



ジェニベック ミスターバーンズ ベティー VG86-2YR

現在クレイヌック牧場では16頭のミスターバーンズの娘を搾乳している。このうち10頭は2歳級でVGを取り、4頭はGPで、残る2頭は未審査である。牧場で最初に2歳級VGをもらった2頭は既に2産目で搾っているが、更に体型は向上し85点から87点に上げられた。ワグラー氏によると彼らのミスターバーンズ娘牛は背が高く予想していたよりスタイリッシュで尻の形状は良く、四肢も立派でそれに皮膚の良質な乳房が素晴らしい。全ての娘が高い蛋白パーセントである。それに性質もおとなしい。仔牛の時は多くの娘は決して生育が速い方ではなかった。彼の最初のプルーフ

ではSCS（体細胞スコア）が高めでちょっと少し気掛かりだった。しかし、ブリーフの進行と共にこのスコアは下がってきたし、なによりも後肢後望の素晴らしさを見るともっとこの種雄牛を使っておけば良かったと後悔している。特に、ハイインデックスの黒白牛に使っておけばな…と。ミスターバーンズの娘に交配する種雄牛としては、ワグラー一家は 200H5575 ジョーダンや 200H5588 ローソリティや 200H3501 ウインドブルックを使っている。それに GLPI で赤因子インデックスの高いヤングブルやレッドキャリアーのヤングブルも使っている。



ビジア ミスターバーンズ メロディー GP83-2YR

クレイヌック牧場のミスターバーンズ娘牛の中で、ボルトン、ランツ、ブレット、マーシャルなどの種雄牛を輩出したカウファミリーと同じファミリーから枝分れした血統の優秀な 2 頭の 2 歳級がいる。クレイヌック ブロンディ ミスターバーンズ VG-85 はレッドキャリアーでその母は米国で VG-87 のタイタニックの娘で、祖母はサンディバレー ブレッシング (VG-88-USA-DOM-GMD6*)となる。このブレッシングが種雄牛ボルトンの母である。ブロンディは全て VG か EX のペデグリーの 9 代目となり GLPI +2049 を持ち、初産の産

乳予測は 12483kgM 4.2%F 3.2%P(316-363-321)である。ブロンディの息牛でシーメックス アライアンスに繋養されている 200H2688 クレイヌック ベースライン レッドはゲノム インデックスで現在カナダ No.1 の赤/白のヤングブルである。彼は 2010 年 2 月生まれでミスターバーンズの息牛のアドロス スターリングが父親で、従って父母両系統でミスターバーンズが現れる。ベースラインの現在の GPALPI は+2467 である。同じカウファミリーの別の枝から産出されたのがダイナミック MB シルディー レッド-ETS (VG-85-2YR)でワグラー一家とオンタリオ州バリーのホットロッド ホルスタインとで共同所有している。シルディーは現在、赤白斑牛の GLPI+1987 カナダ 6 位の牛で、2 歳級の成績は 13118kgM 4.1%F 3.2%P(337-372-332)が予測されている。彼女の母は VG-86-USA のセプテンバー ストームの娘で祖母はライスクレスト テリー トーリ (EX93-2E-USA-GMD-DOM-1*)であり、沢山のトーリの息牛が現在授精所で繋養されている。

他にミスターバーンズの娘を沢山所有しているのはケベック州セント ジェフィリンに所在するミシュレ牧場である。マスターブリーダー牛群賞を 2 度取ったマシュー レミレ、ガイレーン ラロッシュ、マーシャル レミレ、ヴァレリー ギャノン共同所有の牧場だ。ここでは数多くの赤白斑牛がいてそれ故にミスターバーンズの赤因子に魅力を感じている。彼らは赤因子以外にミスターバーンズのバランス良いブリーフ特に高い LPI と娘たちにパワーと力強さを伝達するその遺伝力の強さも気に入っている。「この牛群でミスターバーンズを使う理由の一つは、当時沢山いた赤白

牛や赤因子キャリアーに対してミスターバーンズは良い掛け合わせだと思ったからだ。」とレミレ氏は説明している。レミレ氏達は今12頭のミスターバーンズの娘を持っていて内10頭を搾乳している。「彼女たちは現在2歳級で5頭がVGで5頭がGPである。娘たちは皆働きもので大量に乳を出してくれるし、それにも拘らず受胎率は良い。どれも坐骨の角度が良く我々は気に入っている。性格は温和で一緒に仕事するのが実に楽しい。」とレミ氏は述懐している。ただ、乳房が弱冠深めなので多分それが2歳級でもっとVGが取れない理由ではないか。娘達にはアイシクル、200H05475 オーダシティ レッド、200H5546 ルージュ レッド等を使っている。

ミシュレ牧場にいる2歳級の若いミスターバーンズは、ミシュレ ベリニ ミスターバーンズ(VG-85-2YR)で高い泌乳能力と高いインデックスを持ち、受胎も簡単でその上乳房はスーパーアダーである。彼女は2歳級で既に365日の記録で15156kgM 3.5%F 3.3%P(317-295-319)を達成しGLPI +1782である。ベリニは赤因子キャリアーでロクシーファミリーの一族で11代EXかVGを完成させている。彼女の母はVG-87-3*でチャンピオンの娘でSTBVQ マイルストーン ロゼル(EX-91-4E-10*)の孫娘である。ロゼルは賞賛的となったマイルストーンの娘の赤白牛で、2010年カナダの”カウ オブ ザ イヤー“の最終選考まで行った。同じカウファミリーから産出され輝かしい将来を期待されているもう一頭のミスターバーンズは、ミシュレ オザベル ミスターバーンズ レッド(VG-86-2YR)である。彼女の予測乳量は11840kgM 3.9%F 3.2%P(291-305-292) GPALPI +1654 でこの2歳級の赤白牛は泌乳能力高くインデックスも高く多分ショウカウとしても使えるかもとレミレー族は言っている。オザベルにはVG-85-2YRの同父母姉妹がいて彼女の予測成績は11538kgM 4.3%F 3.2&P(283-324-285)である。この2頭はVG-87のサルトの娘が母親でベリニと母方姉妹である。



アーナワルド バーンズ ジュディール VG85-3YR

オンタリオ州エンブロのハナリー ホルスタインズのハンクとナンシー リー ハイゼレガーもミスターバーンズの娘達には満足している。最初、彼等はミスターバーンズの赤因子に注目した。生まれた数頭の子牛が気に入ったのでミスターバーンズの精液を買い足した。現在、同牧場には8頭の2歳級VGの娘と何頭かの楽しみな育成牛がいる。オーナーのハンク ハイゼレガーに言わせると、「娘たちは乳は出るし非常に仕事がしやすい。四肢が特にいいし蹄床も厚い。しかし乳房の皮膚の質と後乳房の靭帯が唯一の気掛かりな点である。」とハンクは言う。(続)

SEMEX WORKS EVERYWHERE